

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%  
保護者様： 18名回答、回答率 81%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・今年度は教室内の環境整備に力を入れ、物品の場所の変更や入れ替えを行ってきたことにより、少しずつ環境面が改善されてきた。
- ・法令上の基準は満たしているが、活動内容によっては手狭に感じる場合もあるため、その際には机と椅子を移動させ等工夫して対応している。

### ○業務改善

- ・業務分担はできているものの、担当している業務が固定化されているため、全員が対応できるように月ごとに変えるなどして、網羅していく必要がある。

### ○適切な支援の提供

- ・毎日のミーティングにて利用者の個別課題や直近の様子の変化を確認し合い、どう支援するか考えている。また、支援の難しい利用者について、毎回の利用ごとに課題をあぶり出している。それを都度話し合うことにより改善してから次回利用時に実行する事を繰り返し、以前よりも全員が適切に対応出来るようになってきている。
- ・長期休みは、午前中に運動の時間を設けたり、活動を午前・午後の2部制にしたりして、工夫して活動を行っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・保護者とは送迎時にその日の様子、最近の様子について情報共有や課題に対しての対応方法について提案を行っている。
- ・相談支援事業所の相談支援員の方と密に連携を取り、利用者様の様子を小まめに共有し合って対応を考えている。

### ○保護者への説明責任等

- ・利用料に関する事や、各種加算等運営に関する変更の際には都度説明を行っている。
- ・困りごとや相談に適宜応じ、対面で説明できない場合はメールや電話でやり取りをしている。

### ○非常時等の対応

- ・月に一度避難訓練を実施している。地震・火災だけでなく、季節に応じて大雨や降雪等の水害場面や不審者対応等も行い、職員間でも共有している。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

・環境面について、「教室は広くありませんが、落ち着いて過ごせているようです」との回答があった。体制整備面については、「追加利用したいときにはドライバー手配の関係で保護者迎えでないと利用できないケースがあった」「送迎サービスが利用出来るようになったら良いです」と、送迎についてのご意見を頂いた。

## ○適切な支援の提供

・「子どもの特性を考え対応して下さっています」「職員の方は優しくしっかり対応してくれています」と回答があり、満足して頂いている様子が伺えた。  
・一方で「曜日で大体のプログラムが固定で構成されていると感じる」といったご意見も頂いた。

## ○保護者への説明等

・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていないかに対しては、9割の方から「はい」と回答を頂いた。また、送迎時だけでなく、面談や電話、メール等でお話出来ていると思いますとの回答も頂いた。  
・職員体制の変更の際には説明が不十分だったというご意見を複数頂いた。  
・送迎時に対面で会うことのできない保護者の方への共有不足があった。

## ○非常時等の対応

・非常災害に備えた訓練が出来ているかに関しては、9割の方から「はい」と回答を頂いた。

## ○満足度

・子どもは通所を楽しみにしているか、事業所の支援に満足しているかの項目に対して、多くの方から「はい」と回答を頂いた。ただ、「療育的要素がしっかり入っているため、他事業所に比べて楽しさは少ない印象だが、行ってしまえば楽しめている感じだ」とのご意見も頂いたため、引き続き質の高い療育の実施に加えて、皆が楽しめるプログラム作りにも取り組んでいきたい。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

・コロナウイルスの5類移行から約1年が経ち、少しずつ緩和されてきているため、長期休み等は今年度以上に外出活動を増やし、社会性を身に付ける経験をつけるとともに、近隣の店舗や施設の方にもスマートキッズを知ってもらい、地域交流を広げていきたい。  
・いろいろな経験ができるように、毎月療育活動のプログラム構成を変更しながら支援していく。  
・送迎時に保護者様と直接お話できない方もいるため、メールや電話等も使って適宜共有する。

## ○改善できた点・まだ残る課題

・5類移行はしたものの、保護者会等、保護者同士の交流の場を設けることができなかった。実施できなかった分、ニュースレターやブログで療育の様子・余暇時間の過ごし方の共有を行うて発信するよう努めたが、来年度は発信に加え、保護者同士の交流の場を少しずつ設けられたらと思う。それに伴い、こういった形であれば参加してみたいかアンケートを取れたら良い。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・利用者様の特性を把握して、適宜支援内容の改善を図るよう職員間でコミュニケーションを取って運営を行うことができている。また、どうしたらうまくいったが、うまくいくと思う方法は何か話し合ったり、スケジュールやおやつの内容を変更するなどして臨機応変に対応したりできていた。
- ・保護者様のニーズや各々の課題を把握して支援を行うよう努めている。
- ・活動の様子を写真を時々共有したり、ニュースレターに載せたりして、生徒の様子を周知できるツールとしている。

### ○改善点

- ・業務後は、送迎終了時間が遅かったり、退勤時間が異なったりして、振り返りの時間を取れないことがあるが、共有チャットを使うなどして報告や相談をするようにしている。その方法は引き続き行っていきつつ、残っている職員で支援の振り返りや感じたことを伝える事を継続していきたい。
- ・業務分担はできているものの、固定化して業務内容に偏りもあるため、1か月ごとに業務分担を見直し、全員で教室運営を均等に行えるようにしていく。
- ・ブログの作成が定期的ではなかった。今後はペースアップして伝えるツールとしていく。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・適切な業務分担を行い、療育内容、日頃の教室運営を広い視野で見れるようにする。
- ・集団療育の内容を固定化せず、月ごとに少しずつ変化を持たせていく。利用者様と保護者様のニーズに合わせて、個々の課題にも着目しながら適切な支援を行っていく。
- ・自己退室をしている利用者様が多く、日頃の状況の共有や、様子を伝える手段の工夫が求められる為、ツールを増やしていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・業務分担を1か月に1度見直し、全職員が1年間でどの業務も満遍なく取り組めるようにする。安定した教室運営の為にも実行していく。
- ・支援内容の振り返りを当日中にできる職員で行う。当日中が難しい職員は、共有内容の把握をしてから翌日に行う。
- ・ブログは月に1回更新し、より多くの方に教室の事、活動内容、生徒の過ごし方を知ってもらおう。現在のご利用者のみでなく、これからご利用を考える方々やその他の方にも広く周知する。

スマートキッズ